

「博士課程教育リーディングプログラム」中間評価結果

機関名	東京工業大学	整理番号	B02
プログラム名称	環境エネルギー協創教育院		
プログラム責任者	岸本 喜久雄	プログラムコーディネーター	波多野 睦子

(評価決定後公表)

(総括評価)

計画を超えた取組であり、現行の努力を継続することによって本事業の目的を十分に達成することが期待できる。

[コメント]

リーダーを養成する学位プログラムの確立については、極めて高く評価できる。具体的にはプログラム採択時のコメント及び PO (プログラムオフィサー) のアドバイスを真摯に受け止めて随時プログラムの運営に修正をかけ、日々充実化させている。加えて本プログラムの理念の共有化を担当教員・学生の間で進めることに概ね成功した。こうしたこともあって、リーダー養成としての学位プログラムの内容が期待以上の発展を遂げている。

産学官民参画による修了者のグローバルリーダーとしての成長及び活躍の実現性については、ディベートを上手く取り入れた授業や産官のリーダーによるセミナーなどによって学生が蝸壺的な研究に陥らないよう配慮され、グローバルリーダーとして広く社会経済を俯瞰できるような教育がなされており、高く評価できる。

グローバルに活躍するリーダーを養成する指導体制の整備については、①グローバルインターンシップ制度、②環境エネルギー国際教育フォーラム参加、③海外メンター制度 (異なる分野の外国人教員による定期的な面談) などを通じて常に国際的視野を広げることを意識した取組がなされ、高く評価できる。

優秀な学生の獲得については、自専攻の特定課題研究 (修士論文相当) から博士論文研究に至る一連の研究計画書及び異分野の協創コースの選択理由書、環境エネルギー分野におけるグローバルリーダー像に関する小論文の提出によって、優秀な学生を選抜する仕組みが機能しており、大きな成功を収めていると評価できる。なお、学生に対する経済的支援については、奨励金・RA 雇用制度をうまく組み合わせであり、学生が安心して研究に没頭できるよう配慮されている。

世界に通用する確かな質保証システムについては、先端研究に携わっている外国人教員による授業や海外メンター制度、国際評価委員による評価制度など多様な工夫によって保証され、非常に充実したシステムが構築されていると判断できる。

事業の定着・発展については、平成 28 年度より実施される全学的な教育改革の中で、本プログラムを発展的に取り込むための制度化が現在進んでおり、今後の定着・発展が十分期待できる。